



# 変化に迅速に対応し、柔軟性のある 商工会議所を目指して

尼崎商工会議所会頭

吉田 修

新年明けましておめでとうございます。初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に向き合った一年でした。これまで経験したことのない難局に直面し、今までにない対応を迫られました。そして、依然として先行きが見通せない状況が続いており、新しい生活様式への対応や働き方、人とのつながり方の変化が求められています。

政府には、新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済・社会活動を両立し、中小企業・小規模事業者の事業継続と雇用の維持への対応を通じて、国民の生命・生活・雇用・事業を守り抜いていただくことを強く望みます。そして感染症拡大で顕在化した課題を克服した後の新しい未来における経済社会の姿として、ウィズコロナ、ポストコロナの時代における、「新たな日常」を

通じた「質」の高い経済社会の実現と国民が明るい将来展望を描けるよう、各種政策の推進を期待します。

本会議所では、「企業と人が生きづく街は、美しい」というブランドメッセージのもと、地域経済の活性化と発展に努めております。

地域経済を支える商工業者がこの困難を乗り越え、事業を継続できるよう、本会議所においても、職員一同が日々、経営相談や資金繰り相談、事業継続相談の対応に注力しています。また、事業者とともに持続的な経営に向けた経営計画を策定し、地道な販路開拓等の取り組みに対する支援を行っております。

コロナ禍が長期化する中で、従来型の経済活動が制約され、新たな販路開拓やビジネスモデルの見直しなども必要です。このコロナを契機として、新製品やサービス開発、販路開拓など中

小・小規模事業者は知恵を絞り、環境変化に対応されています。事業者に置かれた状況に応じて、各種支援策を活用してもらうために、会員企業に寄り添った支援を本会議所もきめ細やかに行ってまいります。

また、賑わいのあるまちづくりを実現するためにも、消費者や生産者との接点を持つ事業者が、率先して「地元」の良さを発信や、地域社会の価値を見直す取組を支援し、地域に活気を取り戻していけるよう、地域活性化に努めていきます。

尼崎商工会議所は、「元氣と情熱のプロジェクト」新しい出会いが商工会議所にある！と銘打って、5,000会員達成に向け拡大運動を展開しています。

人と人が出会いにより交流と連携が始まれば、新たなビジネスの可能性が芽生えます。そうした好循環を生み出す

ために、地域総合経済団体として、地域経済の活性化と地域産業の発展に貢献します。そして、地域経済を支える様々な事業者の期待に応えるべく、本会議所として積極的に会員拡大運動を進め、会員に加入して本当によかったと実感していただけるように努力をしながら、一社でも多くの方々に商工会議所活動への参加を引き続き強く呼び掛けてまいります。

さらに、変化に迅速に対応し柔軟性のある、新しいカタチの商工会議所を目指して、地域経済の活性化と地域産業の発展に全力で取り組み、人々が活き活きと働ける産業の活力とまちの魅力向上に努め、「活力と賑わいのあるまちづくり」創出に向け、本会議所が担うべき役割と使命を真摯に果たしてまいります。2025年の関西万博を控え、今、世界に向けて日本の魅力を発信する絶好の機会であり、関西はもちろん、日本の成長活性化につなげていくことを期待しています。

本年が会員事業所の皆様にとって、困難な時代を乗り越え、大きな飛躍の年となるよう心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上